

平成30年9月4日

岡田大使の「マッド・ハウス」訪問

9月2日、岡田大使はトリニダード島南部のファイザバード地区所在の「マッド・ハウス」を訪れました。マッド・ハウスは、粘土を用いた伝統的な工法により建てられた家屋ですが、そのほとんどが取り壊されて、現存している物はわずかです。

1885年に建造されたファイザバード地区所在の「マッド・ハウス」は、良好な状態に保全されており、カカオ栽培に用いられた農具等が展示されています。岡田大使夫妻は、初代所有者の子孫にあたる Andrea Bullock 氏、Rajwantee Bullock 氏、及びファイザバード地区選出国会議員の Lackram P. Bodoie 氏から建物および展示物の説明を受けました。

	
粘土で作られた住居	農具の説明を受ける岡田大使
	
右から Lackram P. Bodoie 議員、岡田大使夫妻、Rajwantee Bullock 氏、Andrea Bullock 氏	